

## 教育環境の充実と市民体育の振興

# 在宅の心身障害児教育を行ないます

### ■小学校の整備

広見小学校の増築（鉄筋3階建）と吉永第1小学校の改築（鉄筋3階建）事業をすすめるほか、仮称富士南小学校、仮称富士中央小学校新設のための用地を取得します。「富士地域公害防止計画」関連事業となっている今泉小学校改築のための設計を委託します。

### ■中学校の整備

岩松中学校の増築（鉄筋4階建）田子浦中学校特別教室の新築（鉄骨平家建）事業を行ないます。すでに債務負担行為によって建設した岳陽中学校に係る予算措置も行ないました。

### ■特殊教育

新たに富士第1小学校へ言語治療教室の設置、吉原第2中学校に特殊学級を開設します。在宅の肢体不自由児・精薄児を対象とした在宅心身障害児教育事業を

市独自の制度化によって実施します。

### ■幼児教育

天間幼稚園の増築（鉄骨平家建）と田子浦幼稚園増改築のための用地を取得します。とくに新年度は、私立幼稚園と公立幼稚園の父母負担について、格差をなくすため、保護者助成費として園児1人年額2000円を6000円に増額しました。

### ■高校教育

市立商業高校は、小学科制を実施するため、特別教室の整備が必要となりましたので、特別校舎の新築（鉄筋4階建）を行ない、専門高校としての機能充実をはかります。

### ■社会教育

少年自然の家の建設を推進するとともに、郷土資料館の建設についても設計を行ないます。

### ■スポーツ施設の整備

野球場の造成と用地取得を主体に総合運動公園の整備を行ないます。さらに、富士川緑地公園、木の宮運動場の整備、学校運動場へ夜間照明施設の設置などを行ない、市民スポーツの振興をはかります。



## その他の主要事業

# 中小企業への融資枠拡大

### ■農業振興対策

土地改良事業などを中心とする土地盤整備を重点的に取りあげました。新年度は、継続実施する富士東部たん水防除事業、沼川流域たん水防除事業、富士東部圃場整備事業に加え、新たに大淵畑地帯総合土地改良事業、笹場畑地かんがい事業などを行ないます。このほか、大淵大久保地区の第2次農業構造改善事業、浮島送水管布設事業など市営土地改

良事業をすすめます。

### ■中小企業振興対策

中小企業に対する融資枠の拡大をはかるため、割引商工債券の引受けに伴う利子補給措置、小口資金協調融資の倍額措置、季節融資および商工組合中央金庫貸付予託金の予算措置も行ないました。

### ■消防対策

富士駅南地区に消防分署（鉄筋2階建）を設置します。分署に配置す

る水槽付消防ポンプ車を購入します。このほか、第7分団の普通消防ポンプ車の更新、防火水槽8基の設置など、消防施設と機動力の増強をはかります。

以上一般会計予算について説明いたしましたので、次ページでは、特別会計の国民健康保険事業、企業会計の水道と病院事業についてお知らせいたします。

# 国民健康保険税を 平均26.6<sup>パーセント</sup>引上げ

市民の約30歳を被保険者としている国民健康保険事業は、医療費の大幅引上げなどの影響を受けて、やむを得ず保険税引上げを行ないます。

国保の事業会計は、一般会計とは別個な独立会計になっています。富士市は昭和45年に保険税をあげて以来そのままできました。これまで、保険税収の自然増や一般会計からの援助でなんとかもちこたえてきましたが、2月から実施された医療費の大幅引上げと46年以來の医療費の伸

びで、どうすることもできなくなっていました。

そこで、一般会計からの援助もいままでの倍額となる6000万円に増やしたほか、いろいろな手をつくしましたが、どうしても約1億1400万円が不足してしまいます。このままでは、みなさんの医療費を支払うことができなくなってしまおうため、やむを得ず保険税を1世帯当り26.6<sup>パーセント</sup>引上げさせていただきます。

引上げにともなって保険

税は1世帯当り平均2万3570円が2万9840円になります。内容は、均等割が1120円から1800円、平等割2480円が3960円、所得割100分の105が100分の168、資産割100分の55が100分の58です。引上げによって、富士市の税額は県下の都市で16番目となりました。また、県下21市の平均税額は3万1455円ですから、富士市の場合1600円ほど低いことになります。

なお、出生、死亡のときの給付額が4月1日からあがりました。助産費は1万円が2万円に、葬祭費は6000円が1万円になりました。



## 医師や看護婦の 確保に全力を

市民の健康を守る医療対策も積極的にすすめます。

市立中央病院の医師、看護婦など医療技術者を確保し、成人病や交通事故などが原因となって増える医療需要に対処します。新たに、心電図連続撮影用X線装置など高度な医療機器を購入し、公立医療救急センターとして、より充実した機能が発揮できるようにします。なお、医師会に救急医療などの業務活動に対しても助成します。

昭和46年からすすめている第4次拡張工事も4年目をむかえました。新年度は、鷹岡・今宮地区の水源開発と吉原送水場・伝法第2水源・神戸第2水源の送水施設を整備拡張します。このほか、配水施設や配水管網の整備も行ない、増える給水需要に対処します。

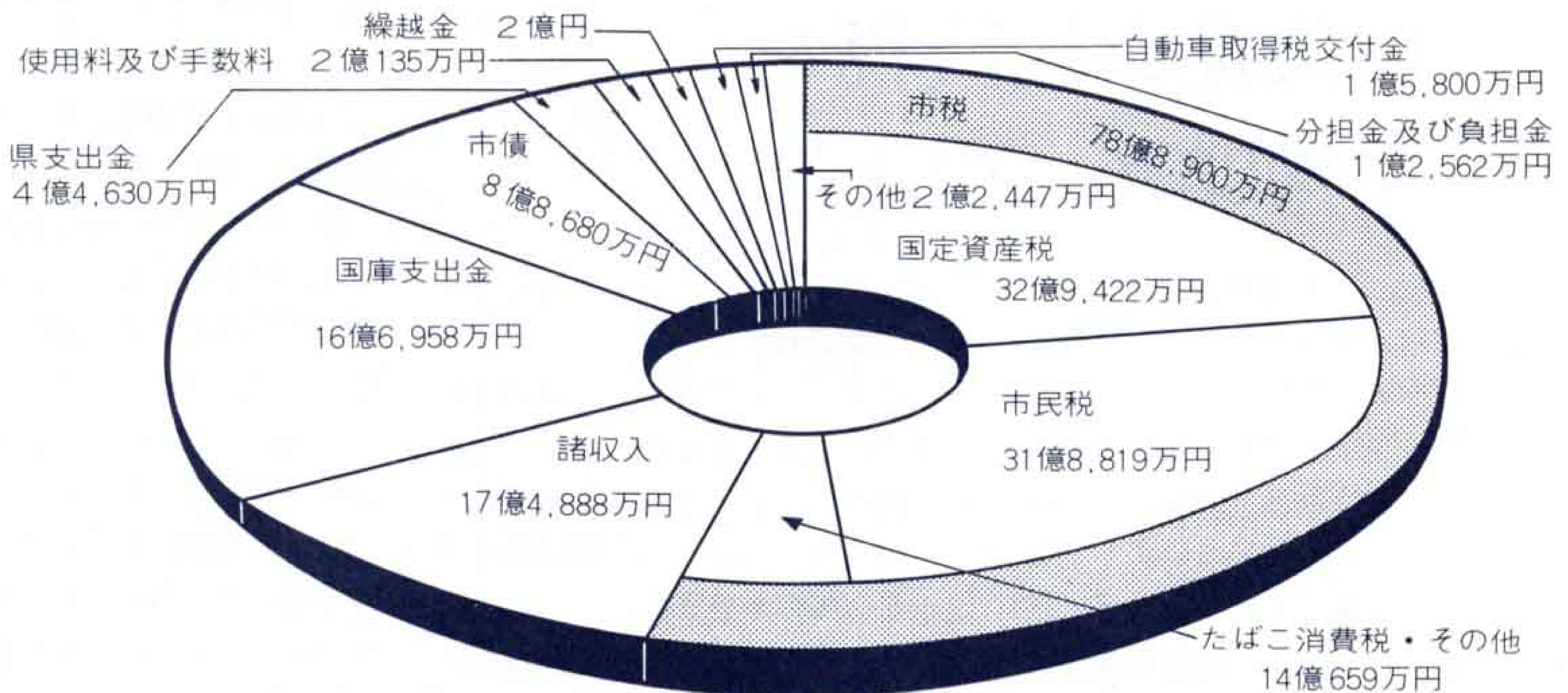
なお、水道事業会計は、給水人口の増加、工事費の値上がりなどのため、経営収支が極度に悪くなっています。このままでは、49年度に1億5448万円の赤字が見込まれ、事業を続けていくこともできなくなってしまいます。水道事業会計は独立採算制ですから、料金を改定して不足分を補わなければなりません。

このため、やむを得ない措置として、8月を目途に料金改定を実施する考えです。料金改定を行なう場合は水道料金審議会で、料金水準、料金体系などについて十分審議を行なってから実施するようになります。



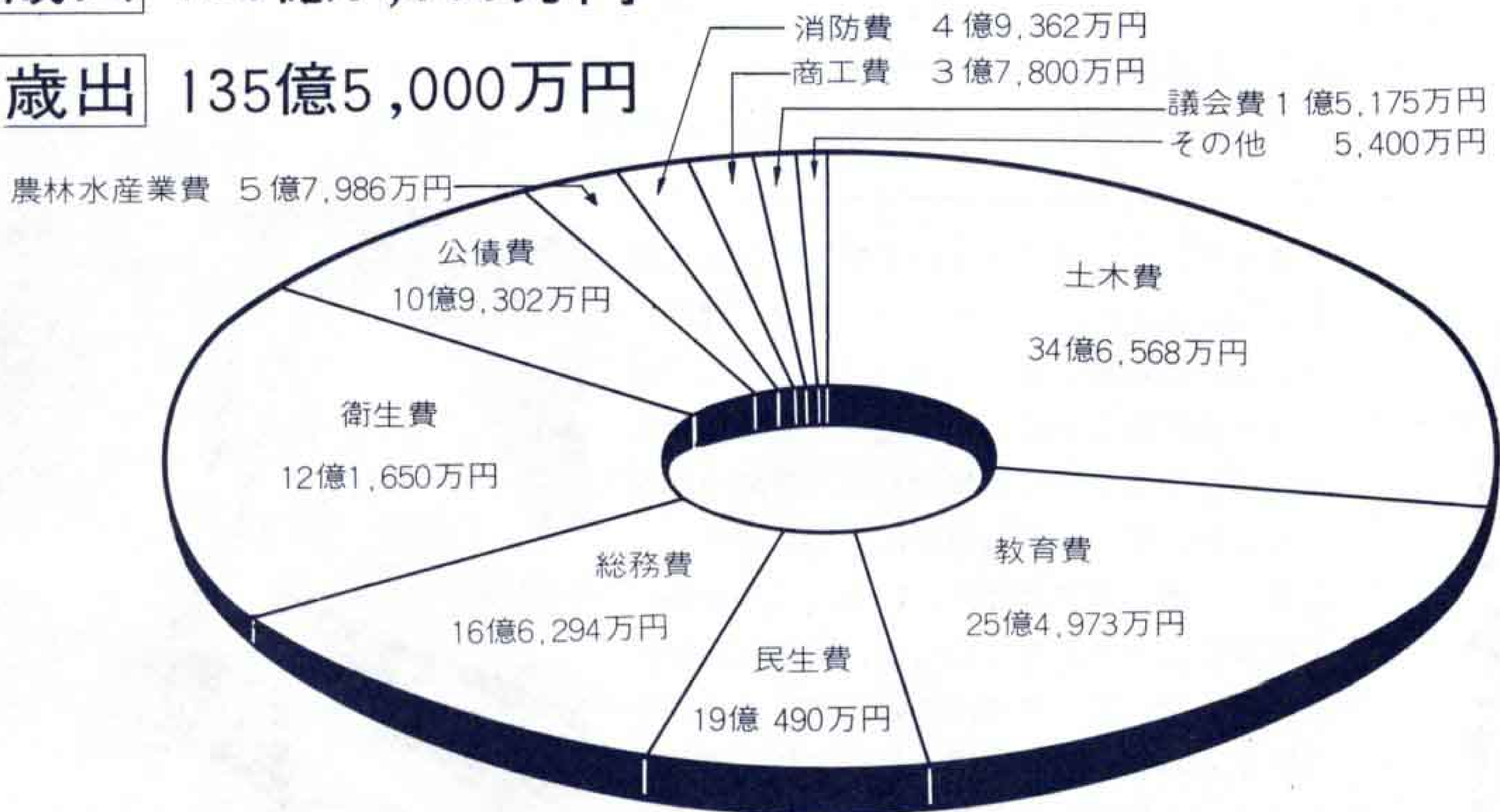
八月を目途に料金改正

一般会計当初予算



歳入 135億5,000万円

歳出 135億5,000万円



各会計別予算

一般会計…………… 135億5000万円	地方卸売市場事業……………2億1820万円	旧元吉原……………71万円
特別会計……………39億3794万円	駐車場事業……………4300万円	旧須津……………163万円
〈特別会計〉	公共用地先行取得事業……………7億6300万円	旧吉永……………434万円
国民健康保険事業……………15億1600万円	内山……………2114万円	旧原田……………620万円
下水道事業……………4億9860万円	旧吉原……………71万円	〈企業会計〉
青島、津田土地区画整理事業清算金……………4425万円	旧島田……………181万円	水道事業……………12億2336万円
依田原新田土地区画整理事業……………7億1400万円	旧今泉……………2830万円	病院事業……………14億2847万円
学校給食事業……………5764万円	旧今泉・一色・神戸・今宮……………1071万円	市の予算総額……………201億3977万円
魚市場事業……………770万円		